

令和2年3月10日

こども家庭部子育て支援課

## 令和元年度 学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」の実施について

学校応援団（ねりっこクラブのスタッフ含む）の活動をサポートするため、東京学芸大こども未来研究所への委託のもと、下記8講座を実施した。

## 記

## 1. 実施回数・参加実績

全8回 延べ283名（1回平均 約35名）の参加を得た。

## 2. 各回の実施状況

	日程 各回とも 9:30～11:30	講座名	講師	会場	内容	参加者 数
1	6月20日 (木)	身体を使った遊びと 運動時の安全管理	仲宗根森敦 (東京学芸大学講 師)	光が丘 区民ホール	昨年度は2つに分けて実施していた講座を統合。 スポーツが苦手でも取り組みたり、雨天や工事などにより広いスペースがとれなくとも楽しめる運動遊びを体験します。 また、運動時の安全管理として、今年度は熱中症対策についてを重点的に説明しました。	11校 22名
2	10月9日 (水)	魅力あるひろば・学校図書館に するために	熊井晃史 (東京学芸大こども 未来研究所研究支 援フェロー)	ココネリ 3階研修室1	子どもにとっての「よい場」とはどのような場か、また、それをどのようにするのかについて、講師の実施したイベントを事例としながら、魅力あるひろば・学校図書館の「場」のつくり方、企画の立て方などを学びました。	16校 37名
3	10月15日 (火)	これからの社会を生きる子ども に必要な資質や体験	酒本絵梨子 (自由学園最高学 部准教授)	ココネリ 3階研修室1	AIの進歩や、就業形態の変化など、これからの社会に生きる子どもたちには、創造力やコミュニケーション能力が求められます。この力を身につけるために、「遊ぶこと」の重要性と、遊びの時間としての「放課後」の重要性を伝えました。	15校 27名
4	11月7日 (木)	身近なものでできる工作	新名佐和子 (「放課後図工室」 主宰)	練馬区役所 本庁舎19階 1902中会議室	家庭などにある廃材(トイレットペーパーの芯や牛乳パック等)を使って、工作の苦手な子どもも大人もできる工作を行います。 実施のコツだけでなく片付けまでの指導についても伝えました。	20校 37名
5	11月13日 (水)	学校応援団組織の コミュニケーション	山田 修平 (淑徳大学短期大 学部講師)	練馬区役所 東庁舎7階 702中会議室	前年度の研修では、保護者対応をテーマとしましたが、今年度は、応援団組織内のコミュニケーションをテーマとし、スタッフ同士の連携や情報共有の方法について、ケーススタディを通して考えました。	11校 11名
6	11月21日 (木)	手のかかる子どもたちへの 関わり方	木村翔太 (東京学芸大学附 属世田谷小学校教 諭)	練馬区役所 石神井庁舎 5階会議室2・3	「言葉遣いが悪い」「時間が守れない」「嘘をつく」等の手がかかる子どもにどのように対応するのか、注意の仕方や褒め方等、小学校教諭の手法を交え、具体を示しながら学びました。	26校 61名
7	12月12日 (木)	簡単な英語あそび 【令和元年度新規実施】	名淵浩司 (東京学芸大学附 属世田谷小学校教 諭)	練馬区役所 本庁舎19階 1902中会議室	どうして今英語教育が進められているのか、どのような活動が子どもにとって取り組みやすいのかについて知り、英語の苦手な子どもも大人も楽しめるあそびを紹介しました。	12校 19名
8	2月5日 (水)	発達等に課題がある子どもの 理解	増田謙太郎 (東京学芸大学教 職大学院准教授)	ココネリ 3階研修室1	発達障害や身体障害など、専門性の高い子どもの支援をテーマとし、一人ひとりの特性を自立活動の視点から紹介することで、様々な支援の仕方を学びました。 また、児童の自己肯定感の高まる指導・支援ができることが、将来の人格にも影響するものとして、「共感するスキル」について実技を通じて学びました。	29校 69名